

■アクティブラーニング×ゲーミフィケーション

の要素を取り入れた「高校生向けお金の授業」

令和4年1月17日(月)5・6時間目、1月24日(月)5・6時間目、2週に渡り、合同会社FPal 坂田卓也様をお招きして、高校生向けの金融教育を実施しました。今回実施した内容は、「Money Poker(家計・貯蓄)」「はらぺこオオカミ(資産形成:複利・長期)」「気まぐれ Lunch Time(資産運用:分散投資)」の三種類のカードゲームです。



【1月17日(月)5・6時間目】

「Money Poker(家計・貯蓄)」では、「理想の支出バランス」を習得することを目的に、社会に出てから一人暮らしを始めた生活を疑似体験し、限られた収入の中で、理想の生活を想像しながら自分らしい理想の支出バランスを見つけられる内容となっています。ゲーム終了後は、自分の理想の支出カードを並べ、「自分が我慢したもの」「自分として譲れなかったもの」を考えさせ、将来の支出計画をさせる意味で有意義な時間となったことと思います。



【1月24日(月)5・6時間目】

「はらぺこオオカミ(資産形成:複利・長期)」では、ニワトリを育て、卵を獲得する養鶏場の疑似体験を通じて、資産形成の時に意識すべき「複利」と「長期運用」の効果が実感できる内容となっています。生徒たちは、ニワトリに卵を産ませ、卵という資産を、リスクを回避しながら増やしていきその数を競い合っていた。獲得した卵が100個を超えた生徒もおり、複利の考え方を理解できたのではないのでしょうか。



「気まぐれ Lunch Time(資産運用:分散投資)」では、お弁当の製造・販売の疑似体験を通じて、資産運用における「分散投資」のポイントを学び、その効果が実感できる内容となっています。天候・来客数・製造個数を予測し、いくら販売できるかを競い合っていました。天候や来客数などのリスクを想定し、販売できであろうお弁当を予測する。まさしく分散投資の概念を知ることができる内容であったと思います。

すべてカードゲームを使っているので、楽しく誰でも取り組みやすい点やゲーム終了後にグループワークとレクチャーの中で、より深い理解を促している点が特色でありました。